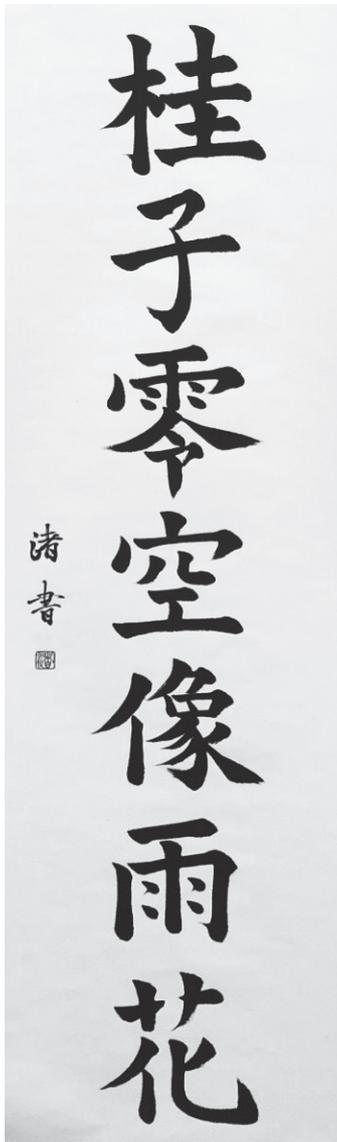


中央大学書道會

4年生

4年生からは書展にて展示した作品から2つ、四年間をふり返ってどうだったか色紙に表現した作品を2つ紹介します。



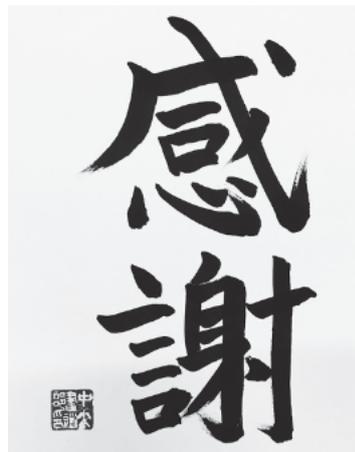
◎臨「桂子零空像雨花」
文学部4年 石原渚

舞い落ちる金木犀を、天女の降らす花の雨に例えた漢詩です。金木犀の優しい雰囲気表現できるよう目指しました。



◎合作「雨のち晴レルヤ」
文学部4年 市川雄大・文学部4年 安西慶将

2人ともお気に入りなゆずの曲に合わせて、パフォーマンスのように楽しく書きました！！



◎「感謝」
商学部4年 水野伸夫

春から社会人になり人生の節目を迎えるということで、これからも大切にしたいこの言葉を選びました。



◎「道」
法学部4年 大塚百華

道は自分で切り開くものでもありますが周りの人が一緒に作ってくれるものでもあることをこの温かいサークルで実感しました。

こんにちは、中央大学書道會です。

今春卒業される4年生にとって、振り返った大学生活はどのようなものだったのでしょうか。書道會からも部活動を牽引してきた16人^{けんいん}が卒業を迎えました。

今号では4年生の卒業作品と次世代1年生の作品を紹介します。

1年生

1年生からは今年度の中大書展にて展示した作品から一つ、また大学最初の一年を色紙に表現した作品を2つ紹介します。



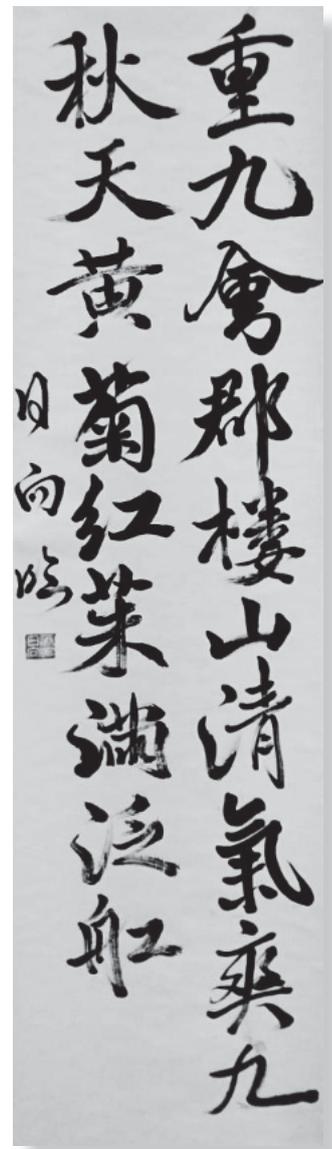
◎「百花繚乱」
文学部1年 千坂明日香

新しい生活が始まり、忙しい日々を過ごす中での楽しみの一つが書道會でした。一人一人に個性が花開いて賑やかであったため、この言葉を書きました。



◎「祭」
法学部1年 安田ひなの

白門祭でパフォーマンスをしたお祭りチームでの思い出を詰め込みました。書道會での2017年一番の思い出です！



◎臨「蜀素帖」
商学部1年 藤嶋日向

この作品は高校時代に書道展に出した作品です。見た人がHappinessを感じてくれたら私はHappyです。